

(様式)

平成31年度 女子硬式テニス部の指導方針等について

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	廣見 卓哉	渡邊 研	SAQ、健康運動実践指導者	年5回
副顧問	若林 美穂			
副顧問				
副顧問				
副顧問				

2 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像
授業を第一にとらえ、肉体と精神、人間関係を鍛え養う場として、自分で考え行動できる。
- (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標
団体戦で3回戦進出、個人戦で3回戦進出を目指して日々の練習に取り組む。

3 指導方針

- (1) 部活動の質と量の工夫
練習は、原則週に4日間とし、練習時間は、平日2時間、休日3時間を基本とする。限られた時間の中で、いかにその日の目標を到達できるかを部員全員で考えながら取り組む。
- (2) 練習や試合等の計画
月に1～2回程度、勝敗を競える相手校と練習試合をし、各自の現状の実力を把握するとともに、今後の練習改善に活かす。
- (3) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成
時間厳守、正しい服装、挨拶の励行、正しい言葉遣い、社会に出たときに待ちの姿勢ではなく自分から発言、行動できる。
- (4) 生徒相互の人間関係
集団の中での自分の役割を理解し、硬式テニス部の活動がよりよくなるように積極的に行動することによって協調性や責任感を涵養する。
- (5) 学習と部活動
6時間の授業を集中して取り組むことと、定期考査・成績で学年順位3分の1以上を達成できるよう日々の復習を怠らない。授業で取り組むことがテニスの強さにつながることを自覚する。

4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導
科学的トレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドラインを活用して、顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。

- (2) 生徒間の暴力禁止
運動部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用
顧問と外部指導員のそれぞれの役割について基本的な考え方を示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。
- (4) 事故防止・安全配慮
生徒の健康状態を日頃から把握し、熱中症等にならないように注意する。事故があった際は速やかに報告させ、初期対応を的確に行う。

5 主な年間計画

学 期	月	内 容
1 学期	4	生徒会部活動紹介 東京都個人戦予選
	5	東京都団体戦
	6	練習試合
	7	東京都立団体戦 夏季合宿健康診断 夏季合宿（山梨県忍野村 3泊4日）
	8	夏季休業中 練習及び練習試合
2 学期	9	東京都新人戦
	10	練習試合
	11	練習試合
	12	東京都城南テニス大会 冬季休業中 練習及び練習試合
3 学期	1	東京都立個人戦
	2	練習試合
	3	第1学区大会 春季休業中 練習及び練習試合

※ 合宿や県外遠征などの宿泊を伴う活動については、必ず記載する。

- 6 休養日 毎週 月曜日、金曜日、土曜日曜のどちらか1日、(週3日)